

平成30年度 郡市医師会生涯教育担当理事協議会

と き 平成31年3月14日(木) 15:00～

ところ 山口県医師会6階会議室

[報告:専務理事 加藤 智栄]

開会挨拶

河村会長 県医師会には生涯研修セミナーなどの講演会があるが、悩みは参加者が減少していることである。現在、医師会の研修会等で参加者が多いのは、産業医の単位が取得できる研修会や診療報酬の加点がされるような研修会や説明会があるときで、いつもは参加者が少ない講演会でも70～80人になることがある。それは一つのメリットでもあるが、診療報酬上だけではない勉強の場として役立ち、いろいろな人が来てくれるような研修会にしたい。

協議

1. 日本医師会生涯教育制度について

平成29年度の単位取得者総数は124,042人(山口県1,783人)であった。また、取得単位+カリキュラムコード合計平均は全国25.6(同

22.0)であった。日医生涯教育認定証は全国6,917人(同95人)に発行された。

日医への単位申請方法については、会員から郡市医師会への提出期限は例年4月30日である。郡市医師会から都道府県医師会への申告には、日医の研修管理システムによる申告をお願いしたい。郡市医師会・都道府県医師会が研修管理システムに入力する期限は6月30日である。なお、日医の研修管理システムを利用することで、2年間などの研修期間を設定できるため、地域包括診療加算・診療料などに利用可能な「受講証明書」が郡市医師会でも発行できる。

2. 2019年度山口県医師会生涯教育事業計画について

1. 生涯研修セミナー

平成30年度の生涯研修セミナーの参加者は第

出席者

郡市医師会担当理事

大島郡 松本 直晃
熊毛郡 吉村伸一郎
吉南 鈴木千衣子
厚狭郡 中根比呂志
美祢郡 竹尾 善文
下関市 大谷 望
宇部市 内田 悦慈
山口市 亀岡 宣久
萩市 藤原 真一
防府 大西 徹

下松 河村 裕子
岩国市 福本 雅和
小野田 河野 和明
光市 谷川 幸治
柳井 濱田 敬史
長門市 須田 博喜
美祢市 高橋 睦夫

山口県医師会

会 長 河村 康明
専務理事 加藤 智栄
理 事 白澤 文吾

148 回 116 名、第 149 回 76 名、第 150 回 69 名、第 151 回 84 名であった。専門医共通講習の単位が取得できるようなセミナーは参加者が多い印象である。2019 年度も 4 回開催し、産業医の単位や専門医共通講習の単位などを取り入れて、多くの方に聴講いただけるような企画にしていきたい。

2019 年度は生涯研修セミナーを 4 回開催し、昨年に引き続き専門医共通講習の単位を取得できるように企画している。

2. 山口県医学会総会

宇部市医師会の内田先生から、2019 年度は宇部市医師会の引き受けで 6 月 16 日に開催されることが報告された。午前は特別講演として「肺癌治療の最近の知見」を山口宇部医療センター院長の亀井治人先生に、「糖尿病の最新医療」を順天堂大学代謝内科学講座教授の綿田裕孝先生に講演いただく。午後からの市民公開講座は「認知症の最新情報～今からできる効果的な予防法～」と題して鳥取大学医学部保健学科生体制御学教授の浦上克哉先生が講演される。

また、同日の午前中に、過去 2 回開催し、参加者から大変好評であった中学生・高校生を対象とした「将来のドクター養成に向けた中高生の職業体験」を引き続き開催する。内容は医師による講演と①採血、②心肺蘇生、③血圧測定、④縫合・結紮、をグループに分かれて体験できるように企画している。

なお、2020 年度は長門市医師会にお引き受けいただき開催する。

3. 指導医のための教育ワークショップ

医療機関で研修医を指導するには本ワークショップをはじめとする指導医講習会を修了しなければならない。本会では平成 16 年から毎年開催し、平成 30 年度で 15 回目を迎え、平成 30 年 10 月 6 日（土）・7 日（日）に開催予定だったが、台風の接近により延期とし、平成 31 年 3 月 9 日（土）・10 日（日）の 2 日間で開催した。朝から夕方まで講義やグループワークがあり、指導医になるためのテクニックや心構えなどを習得し

ていただく。受講する前と後で指導に対する考え方が変わったと言われる方もいた。

基幹型・協力型臨床研修病院の医師はもちろん、地域医療を学ぶために診療所にも研修医が行く場合があるので、ぜひ開業医の先生方にも参加していただきたい。

なお、1 人の指導医が指導できる研修医は 5 人と定められている。

4. 体験学習

昭和 60 年から山口大学医師会、山口大学医学部にお越し、山口大学で毎年各 2 教室にお引き受けいただき、講義や大学で使用されている医療機器を用いた実技研修を企画していただいている。平成 30 年度は平成 31 年 1 月 27 日に放射線医学講座が「日常診療に役立つ胸部・腹部領域の画像診断のポイント」と題して胸部 CT 読影や腹部の読影を、3 月 3 日に消化器内科学講座には「癌の早期発見を目指した消化管内視鏡診療」と題してトレーニング機を用いた実習を行っていただいた。2019 年度は小児科学講座、皮膚科学講座にお引き受けいただく予定である。

5. 日医生涯教育協力講座セミナー

日本医師会、都道府県医師会、製薬会社の三者共催で開催している。平成 30 年度は 7 月 21 日（土）に「これからの高尿酸血症・痛風治療戦略」を生涯教育委員長の福田信二先生にコーディネーターを務めていただき開催し、「高尿酸血症・痛風の病態と治療」東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センターの山中寿教授、「高尿酸血症と心血管疾患」鳥取大学再生医療学分野の久留一郎教授、「高尿酸血症と CKD ～最新知見から～」帝京大学医学部の内田俊也 名誉教授に講演いただいた。2019 年度については、現時点で日医から同セミナーに関する通知はないが、開催が決まり次第、ご案内する。